



くりのために

自治会長懇談会を開催しました



9月4日、室蘭工業大学で行った「町会長・自治会長懇談会」。地域・大学・行政の三者による懇談会は、今回が初めて。地域を真ん中に、相互の連携を深め、協働のまちづくりの一步とすることを目的に開催し、各町内会・自治会の代表者から、まちづくりに関するさまざまな意見が出されました。その主な内容をお知らせします。

意見交換の主な内容

町内会 少子化社会を迎え、今後、大学も学生定員枠の縮減や大学自体の統廃合もあるのでは。地域・大学・行政が相互に連携していく必要があり、大学にもこれまで以上に、地域と結びつぐための努力をしてほしい。

大学 大学は学生確保が最大の課題。地域連携の目的も、最終的には学生確保でもあり、地域活動を積極的に進め、学生の定員や大学が縮小されないよう、精一杯頑張りたい。なお、室蘭地区は住居費等が高く、経済的に苦しい学生が多い。学生に負担がかからない環境づくりに、皆さんの協力をお願いしたい。

町内会 大学の教職員や学生に、町内会の会員になってほしい。
大学 町内会の果たす役割は非常に大きいので、教職員にも、積極的な加入を勧めたい。また、学生は、町内会加入のメリットがよく分からないため、加入する意識が薄いと思う。学生マンシオンを所有する方などが、その建物を代表して加入し、町内



町会長からは、まちづくりから、身近な問題までさまざまな意見が出された。

会などの情報を伝えるという方法も可能ではないか。

町内会 北海道や室蘭、さらには町内会を知ってもらうため、ホームステイの受け入れを各町内会で行うことも、大学とのつながりの一つになるのでは。
大学 是非やらせてほしい。ホームステイに協力していただける方には、積極的に学生を泊らせるようにしていく。

町内会 坂道の多い室蘭の冬の道の雪を、もつと安価にできる方法を研究してほしい。道路にパイプを埋設し、山のわき水や、生活排水、例えば風呂水の温水を流すとか、道路の要所でも、日中暖かくなつたときに、自然融雪の補助をするようなことができないか。

大学 自然のわき水等を使用した融雪は、本州では行われている。しかし、北海道は気温が下がりがすぎるため、自然水自体が凍結する。下水も処理の問題があり、これらの利用は難しい。

そのほか町内会の主な意見

●町内会の盆踊りや祭りなどに、学生の参加をお願いしたところ、

町内会を立ち上げるには

地域での支え合い、助け合いのため町内会の立ち上げを考えている皆さんにお知らせします



「町内会がなくて困っています」という声が増えていきます

近年、マンションやアパートの建設が増え、また、新たに開発された住宅地にも家が建ち並んできました。最近、町内会がない地域に住む人から、次のような声が増えていきます。「ごみステーションの場所はどのよう

町内会をつくる方法や手続きはどうしたらいいですか

設立の一步は、地域の人たちの合意を得るための仲間作りから始め、話し合いの場を広げていくことが大切です。その際、近隣の町内会長から意見を聞くことや、連合町会に相談すると、良いアドバイスをもらえることが出

住みよいまちづ 町会長。



児童・生徒の通学を見守る取り組みなど、地域の大人が、子どもたちの安全・安心を守っている。

町内会未加入者が増加しています

最近「町内会に入るメリットがわからない。忙しくて町内会活動に参加できないし、隣近所に世話になることもないので入らない」という話を聞きます。現在、町内会への未加入率は26%と、増加傾向にあります。



町内会に入りましょう!!

地域での支え合い・助け合いに
あなたも町内会の一員として
みんなと一緒に活動しませんか



町内会の役割や必要性は今後もっと大きくあります

便利で豊かな世の中になった

町内会は、個人では難しい問題の解決を助けることができます



寿町会会長

木村隆雄さん

数年前、寿町会と隣接する新興住宅地に住む皆さんが、ごみステーションの設置や、広報紙など市からの情報が届かないといった、個人での解決が難しい、地域の問題を抱えていました。

住民からの相談を受け、その区域は寿町会に含めることになりました。全世帯に寿町会の事業を説明するチラシを配り、加入への理解を求めると、ほとんどの世帯が快く応じてくれました。

「向こう三軒両隣」。同じ地域に住む人同士、互いに協力し合い、住みよい地域づくりを目指していきたいですね。

交流が深まり活性化した。先生方も、学生に「大いに行つていい」と激励していただき、学生が地域の行事に参加することも大きなことと思う。

● 大学で行っている研究を市と協力して、市民対象のモニター調査などを行えば、町内会として手助けになれると思う。

● ごみや資源物は、市で決めた収集日を守ってもらおうよう、大学から学生に、生活上のルールを指導してほしい。



学長が、町内会への加入について、地域の意見に傾け、答えた。

● 中小企業では、ものづくりの上での悩み事などを多く抱えているのではないかとと思う。技術者を集めて、市と三者でこういう場を開いて悩みを解決したり新規の事業を大学から提供するなどしてはどうか。

反面、人の結びつきの希薄化、多発する悲しい事故・事件など、地域の課題をともに解決していく町内会の役割は、今後さらに大きくなっていきます。

改めて町内会の役割や必要性を考えると、次のような大切なことがあります。

- 防犯パトロールや街路灯設置
 - 子ども会活動を支援
 - 老人会や募金活動への協力
 - レクリエーション活動
 - 市内行事の回覧や広報紙配布
 - 地域の声を行政などに要望
- 町内会への加入は個人の自由意思ですが、地域の一員として、自分のできることをぜひ、地域の中で役立ててください。

手 続きと作業は、仲間とともに準備会を作り、進めてください。設立する町内会の区域を決める場合は、ほかの町内会と重ならないように注意してください。設立後の運営方針や事業、会則などについて、住民の意見を広く求めることも大切です。

町 内会加入の呼びかけは、町内会設立の目的などをまとめた設立趣意書を作成・配布し、できれば区域全員の加入を呼びかけます。しかし、入会は個人の自由意思が原則です。強制は避けてください。

会 則案や役員候補の検討を行う段階では、一部の人だけで決めず、住民の皆さんでよく話し合うことが重要です。住民の中には、ほかの地域で町内会活動などに参加していた人がいるものもです。皆さんの経験を生かしながら、住みよい町内会づくりを進めてください。

最 後は設立総会を行い、市からさまざまなお知らせを入手するための、市への連絡で完了です。地域の人たちの協力で、子どもや高齢者を守り、暮らしの中での問題を解決する町内会活動に取り組んでください。